

本学看護学科平成 29 年度 4 年次生でアンケート実施日に不在だった学生用
「**臨地実習におけるシミュレーション学習活用の効果・再現性の検討**」に関する
研究のお知らせ

帝京大学医療技術学部看護学科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成29年11月20日～平成31年12月31日

〔研究課題〕

臨地実習オリエンテーションにおけるシミュレーション学習活用の教育的効果・第2報：効果再現性の検討

〔研究目的〕

本研究の目的は、シミュレーションを利用した実習オリエンテーションが、学生の臨地実習に臨む姿勢や学習準備、臨床実習中の学習過程にどのような効果をもたらしたのか、実習による対象理解や看護実践における学習結果にどのような影響があったのかを明らかにすることです。

〔研究意義〕

看護学生が、患者を目の前にして得られる情報を解釈し、看護判断を実践に転換するといった看護実践を学習する臨床実習における学習の効果的支援のあり方を明らかにすることができれば、複雑な健康問題を抱える現代の成人期患者に必要な看護実践のための基本的能力を養い、観察力、判断力、看護実践能力をはぐむ看護高等教育の今後のあり方を検討する助けになります。

〔対象・研究方法〕

本研究の対象は、本学看護学科平成 29 年度 4 年次生 134 名です。本学看護学科平成 29 年度 4 年次生で X 月 X 日本研究の説明の際に欠席・不在だった学生に参加いただく研究データは、成人看護学実習Ⅱの評価のために算出した点数で、研究責任者が誰の点数かわからないようにし匿名化してデータ化し推測統計量を求めて分析します。

〔研究機関名〕

本研究は、帝京大学医療技術学部看護学科での単独研究で、以下の者が研究を行います。

林さとみ・医療技術学部看護学科・教授(研究責任者)

〔個人情報の取り扱い〕

本研究では成人看護学実習Ⅱの評価のために算出した点数をデータとします。その点数は研究責任者が匿名化しわからないようにしてデータ化します。データにはこの研究固有の番号をつけコード化し電子ファイルで管理します。データを含む電子ファイルは、研究責任者の研究室内の施錠できる場所で厳重に管理します。本研究で取り扱うデータ・情報は本研究の目的にのみ用い、他の研究機関に提供することはありません。

〔その他〕 (健康保険・謝金等について、必要に応じて記載する。)

本研究への参加・協力によって医療費が発生したり、謝礼を支払うことはありません。

対象となる本学看護学科平成 29 年度 4 年次生で、成人看護学実習Ⅱの評価のために算出した点数を本研究へ使用することにご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：研究責任者：林さとみ・帝京大学医療技術学部看護学科・教授
住所：〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学医療技術学部看護学科
TEL:03-3964-1211(代表) [内線 46144]